

伊賀市長 岡本 栄様

2020年8月7日

日本共産党伊賀市委員会

委員長 百上 真奈

副委員長 釜井 敏行

新型コロナウイルス再拡大に伴う緊急要望

新型コロナウイルスから伊賀市民を守るため、日夜のご尽力本当にご苦労様です。心から敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染が全国的に再び拡大し、三重県下においても、感染者数が日々過去最高を更新する状況です。この感染拡大をくい止めるために、あらゆる手立てを尽くす必要があります。

日本共産党の志位委員長は、7月28日安倍首相に対し、感染急拡大を抑止するための緊急申入れを行いました。伊賀市委員会としても、5月1日に市長宛に「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出し、市民の声を届けてきました。

市内での感染拡大の状況をふまえ、PCR検査センターの設置や医療体制の拡充を求める市民の声があります。よって、感染拡大の防止のための緊急申入れをいたします。

記

1 市民が必要に応じてすぐにPCR検査を受けられよう伊賀市で早急に検査センターを設置すること

市民は検査の状況や体制が詳しくわからず、不安が大きくなっています。感染が拡大する中で、PCR検査センターの早急な設置をはじめ、必要に応じてすぐに検査が受けられるよう体制を確立してください。また、プライバシーに配慮しながら、検査数、結果等必要な情報を市民に開示してください。

2 発熱、咳等の症状が出たら、市民が安心して確実に医療機関で受診できるよう体制を強化すること

3 医療・介護・福祉施設や保育・教育等集団感染によるリスクの高い施設等に勤務する職員には、必要に応じてPCR検査が受けられるようにすること

4 急速な感染拡大を想定し、病床および軽症者受け入れ施設の確保を行うこと

**5 県と一体になって、医療機関および介護事業所に減収補填をすること
国にも財政支援を求めること**

医療機関での患者減少による減収や、感染防止策による出費増と利用者の減少による経営難の介護事業所に直接的財政支援を行ってください。

6 通所系サービスおよび短期入所系サービスにおける新型コロナによる介護報酬引き上げ特例について、利用者への負担増が生じないよう、伊賀市が上乗せ部分を補填すること

国は介護事業所に対し通所系サービス、短期入所系サービスについては、サービス事業所が利用者に対し一定の要件のもとに介護報酬の算定を実際より 2 段階引き上げることを認める通知を出し、利用料負担が新たに発生しています。

利用者の負担増によりサービス利用を減らしたり、同意の有無によって異なる利用料が混在することも生じます。

伊賀市の新型コロナウイルス感染症対策基金を使い、利用者への負担が生じないようにしてください。

7 防疫に徹した感染震源地検査の実施を政府に強く求めること

感染をくい止めるためには、無症状の感染力のある人にまで検査を拡げる必要があります。感染震源地（エピセンター）を明確にし、その地域の住民・事業所の在勤者等全体に対して PCR 検査を実施するよう政府に強く働きかけてください。

以上